

川崎市議会議員

浅野文直

あなたの視点

川崎市議会報告第35号

守るべき人がいる
守るべき町がある
ふるさと創生

<http://2370.net>



政策ブックレット総集編

体験

わが子が何度も救急車で運ばれ、小児特定疾患として長期間国立小児病院に入院した体験から、小児救急医療の充実・体制整備による救急ストップゼロの実現を使命と考えます。



子育ての「悲しい思い」をなくしたい!

現状



南部小児急病センター

念願の中部小児急病センターを平成25年に開設いたしました。しかしながら、小児救急ストップはまだゼロではありません。

	年間小児救急患者数	救急ストップ時間
南部小児急病センター	12,081人	平均 40分
中部小児急病センター	5,076人	平均 0分
北部小児急病センター	8,956人(医師会委託)	平均 0分

課題

○南部小児急病センターは、市立川崎病院が受け持っており、中部小児急病センターの開設により患者数は3割減となったものの、年間40万人を越す一般及び救急外来や入院患者の対応に追われ、院内は常に戦場と化している。その為、やむを得ず小児救急ストップが発生する。

○救急医療体制構築の為、早期に小児急病ストップとする運用の変更。

○市立川崎病院が高度医療や総合周産期医療に対応する為の役割分担やトリアージの促進が必要。

対策

■前期4年間の取り組み(医師2人制、中部開設)により一時は140分以上あった平均ストップ時間は17分まで縮減してきました。しかし、近年の社会情勢を反映して直近では平均40分の救急ストップが発生しています。また、過度の労働で川崎病院の小児医療の崩壊を招いてはなりません。

■医師を集めやすい高度ネットワークの形成が必須!

■北部急病センターのような委託化も検討!



安心して出産 できる街へ



総合産産期母子医療センターにて

イシュー

- 全国的な産科医不足
- 川崎市の年間出産数は約14,500人
しかし分娩志需能力は約10,000人
- 出産の高齢化による高度医療の必要性
- MFICU、NICU、GCUの稼働率の高さ



ソリューション

- ☆安心して勤務出来る体制
・高度ネットワークの構築!
- 周産期医療ネットワークの推進
- 医師への法的バックアップ
- 院内保育所、分娩手当の拡充
- 産科医師への報酬の引き上げ
- 平成26年度GCU5床の増床

一人の親として、また川崎市幼稚園
父母の会連合会の会長を3年間務め
て、幼稚園教育の向上と保育料無償
化に全力投球!

快適な子育て のできる街へ



幼稚園の運動会にて

イシュー

- ①幼稚園の保育料補助は近隣都市に
比べて低い(世田谷区・大田区の約半分)
- ②女性の輝く社会へ、待機児童対策
- ③約2億円の保育料滞納と保育園運営の
公費節減



ソリューション

- ①幼児教育の充実と税の公平な分配からも
幼稚園就学費の無料化を目指す。
- ②公設民営園や駅前保育園の新設・
多機能化
- ③差押を含め厳しい収納指導と公設民営化
- ④認定保育園の新たな活用



万一の 児童養護

慰問に訪れた施設にて

地域関係が希薄化し、連日心を痛める見
童虐待などが報道される現代。
万一、あなたに何が起こった時に最低限
任せられる行政サービスを創りたい!

イシュー

- 児童養護のニーズが増加
- 一時保護の7割が長期化
- 家庭的な養護が必要
- 専門的な相談体制が必要
- 里親登録者の高齢化



ソリューション

- 児童虐待防止条例を議会で策定!
- 児童相談所3、乳児院2の体制を構築
- 小規模児童擁護施設・住居型児童養育施設
を増設!
- 児童精神科医など専門的支援員の強化
- 里親(微増中)の負担軽減や研修等の充実

怒りの舞台裏 出資法人編



議員になって16年。飲む量は減ったのに、体重は逆に増えたなあ～。髪も少し薄くなったかなあ～。しかし外見は変わったけど、気質は全く変わらな
いんだなあ～。どっちかというとな短気かなあ～。

行政や政治家の不祥事が発覚すれば市民の怒りは目に見えますが、普段は市民の代弁者である議員がそんな事態にならないように行政を監視し、自ら襟を正し、時には市民に代わって怒りをみせねばなりません。例えば、出資法人改革の時には…

私は国の事業仕分けを行った初の地方議員です。そのノウハウを後輩に伝えながら、川崎版事業仕分けとして出資法人改革に取り組んできました。各法人に直接出向き、時には国の無駄撲滅プロジェクトよりも厳しく総勘定元極の突合せなども行いました。その時にできるわ…

川崎市では「出資法人等への再就職等に関する指針」が平成10年に策定され、役員に再就職しても給与は年額500万円未満、退職金0と決まっています。しかしながら、私の調査では「かわさきファズ園」「みぞのくち新都市園」などいくつかの法人が規定をはるかに上回る給与を天下りの職員に払っていました。

当然、議会で取り上げました。

すると、言い訳のような答弁は「民間出身の他の役員との均衡が…」、「月に数時間夜勤しましたから…」、たしか、その役員は元川崎市の監査事務局長だよな～!



ふざけてるのか!!

「〇〇局長!取締役会で提案してください!」「川崎市が株主として株主提議すべきです!」
…約半年後…規定通りの給料になりましたとさ。

また、保健衛生事業団を仕分けしてみると、14年間運送業務を同じ法人に委託契約していたり、市職員を派遣していたり、補助金で料理教室とか…。



黙っちゃおれん!!

「●●局長!競争入札が当然ですよ!」「この法人自体役目終わりじゃないですか!」
…翌年から入札で運送費は3000万円から1000万円に。そしてこの法人は廃止になりましたとさ。

時には、怒りも改革のエネルギー! これからも無駄撲滅すすめますよー!

川崎環境クラスターの創設

「終末時計」をご存知でしょうか？ ノーベル賞受賞者達が、自ら発明した人類の技術で、逆に人類が何時滅びるのかを示した象徴的な時計です。今この時計の針は大きく進んでいます。その理由は、①原子力政策を失敗と分析した事、②地球温暖化による気候変動、の2点です。

川崎市は京浜工業地帯の中核を担いものづくり都市として発展する中で公害という負の遺産とも向き合い克服してきました。次世代エネルギーの「水素」関連技術や、公害を克服するための環境技術を世界に羽ばたかせる事は市内企業にはビジネスチャンスであると同時に、市の社会的責務であり、我々政治家の役割と考えます。

各者の力を結集した「環境技術クラスター」を創設して、次代へ快適な地球環境を残します。



■ 川崎国際環境技術展にて

ケアコミュニティへの発展

人類未曾有の超高齢化社会の到来は川崎市も例外ではありません。

2040年には高齢化率30.4%と推計しています。また、平均寿命は延びているものの健康寿命は70台前半で伸び悩んでいます。もはや、入所施設型ケアで対応出来得るレベルではありません。

一刻も早く、ケアコミュニティへと発展を遂げねばなりません。

市民

・セルフケアの認識。互助精神の共有。地域互助の活発化。

事業者

・多様な主体による24時間切れ目のないサービス。

行政

・地域包括ケアシステムの構築。
・セーフティネットの整備。地域に適した仕組みづくり。
・地域アセスメントの上での地域マネジメントの仕組みを整備。

あなたの住む川崎

「大都市比較統計年表から見た川崎市」という政策資料があります。政令指定都市を含む21の大都市の指標を比較したものです。

最新の資料から私達の街がどのような特徴をもつのか確認してみましょう。

どんな人が 住んでいる？ 【人口】

川崎市は大都市の中でもトップクラスの若々しい街です。転出率が高いのが難点で、住民に気に入られる「終の棲家」になる街づくりが必要です。男性に比べ女性が少ないのも特徴です。

生産年齢人口 (15歳～64歳)	70.0%	【第1位】
老年人口 (65歳以上)	16.8%	【第18位】
人口増加率	0.33%	【第1位】
出生率	1.01%	【第1位】
転入率	5.72%	【第2位】
転出率	5.39%	【第2位】
性比 (女性100に対しての男性)	103.8%	【第1位】

**子育て支援、就労支援が急務！ 老後の安心できる環境整備が必要！
女性にとって魅力ある街づくりが必要！**

安全な 街なの？ 【治安・防災】

犯罪や交通事故の発生件数は人口比では低い。

- 火災出火件数(人口1万人当たり) 2.3件 【第17位】
- 刑法犯認知件数(人口千人当たり) 8.0件 【第20位】
- 交通事故件数(人口10万人当たり) 370.7件 【第21位】

恐まわしい事件はありましたが、それでも川崎市はイメージよりも安全な街！

どんな仕事 があるの？ 【産業】

工業従業者の減少が進む中、先端技術に関わる情報産業の躍進が目立ちます。また、資本金階級別企業者割合では、500万円未満の企業が44%と他都市に比べて中小企業が多いのも歴史的な特徴です。

- 従業者数 514,781人 【第11位】
- 工業従業者数 50,449人 【第11位】
- 学術・開発研究機関従業者割合 2.38% 【第1位】
- 情報サービス業従業者割合 5.95% 【第2位】

工都川崎から情報産業都市かわさきへ！

どんな暮らし なの？ 【生活】

住環境として魅力的ではないのか、「終の棲家」と思っていない人が多い。

- 世帯あたりの人員 2.14人 【第15位】
- 65歳以上の人口割合 16.8% 【第21位】
- 共同住宅比率 70.8% 【第4位】
- 浮遊粒子状物質濃度 0.017mg・m3 【第18位】
- 1世帯あたりごみ収集量 0.65t 【第21位】

共同住宅に住む核家族が多い！ 実は環境優等生！

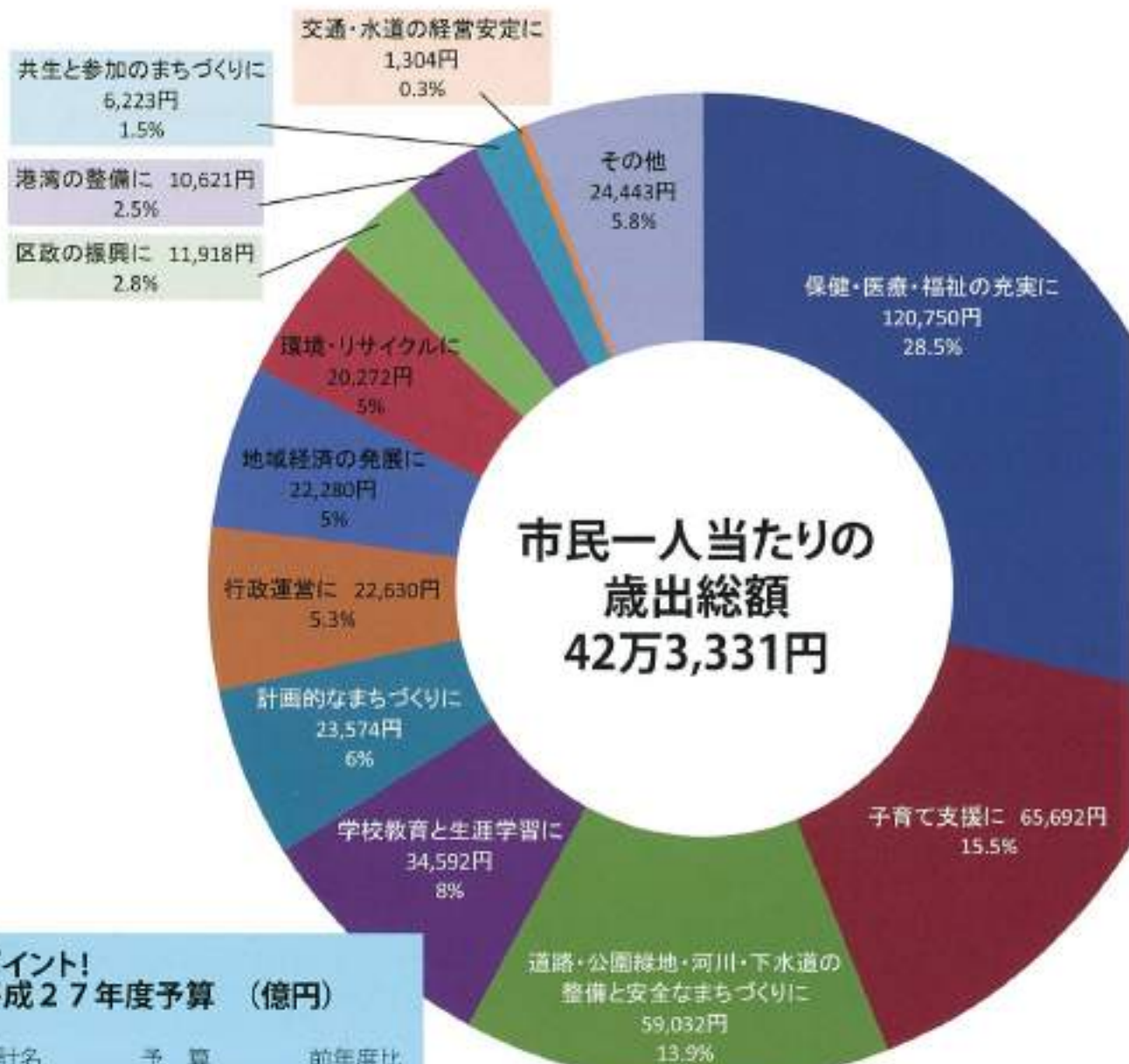
**若々しい先端の街づくり
そんな可能性を「川崎」は持っています！**

守るべき人がいる
守るべき町がある

市民一人当たりの予算額と 市税の使いみち

平成27年度一般会計予算案では、市民1人当たりに換算すると市税等の額は約20万円となり、これに国や県からの補助金・交付金・市債などを加えて、総額42万円を財源に下記の事業を検討しています。

※ それぞれの事業の財源として過去に発行した市債の返済額などを含みます。



ポイント! 平成27年度予算 (億円)

会計名	予 算	前年度比
予算規模	6,189億円	0.3%増
市税収入	2,963億円	1.4%増
市債	516億円	31.9%減
減債基金新規借入金※	54億円	

※減債基金新規借入金とは・・・

川崎市債は、「満期一括償還方式」ですので、満期時に一度に多額のお金を返す必要があり、それに備えて一定のルールに基づいてお金を積立てる基金を設置しています。これが、「減債基金」です。他の収入がどうしても足りないので、この減債基金からお金を借りて街づくりに役立てます。

改革のゆくえ

NON STOP!

行政改革

平成14~25年度 第一次~第四次行政改革プラン

- ・3,045人の職員削減
- ・12の出資法人を削減
- ・43の特殊勤務手当を廃止
- ・給与表水準の引下げ
- ・ゴミ収集業務等の民営化…etc.

平成26~27年度 行財政運営に関する改革 プログラム

公共サービスにおける民間部門のさらなる活用や、効率的な行政運営に向けた市役所の内部改革に取り組み中。

今後は、新たな総合計画の策定に合わせて行財政改革に関する計画を策定。



還元

こうした効果は、「小児医療費助成の拡充」や、「私立幼稚園保育料補助の増額」、「小中学校の冷房化」、「小児急病センターの開設」、「水道料金の負担軽減」などにも還元しています!

持続可能な行政基盤を構築して 子や孫に、誇りをもって “ふるさと”を引き継ぐ為に

NON STOP!

議会改革

平成15年度~26年度

- ・定数を4削減
- ・政務調査費の全公開
- ・広報の拡充(ネット対応)
- ・川崎市議会基本条例の制定
- ・政策担当者会議の設置
- ・議会版パブリックコメントの制度化
- ・その他31項目を改善

平成27年度以降

これまでの改革により、議員提案条例の制定は活発になりました。

次は、予算や議案に対して超党派による担当者協議会を設置し、議会の機能強化を図る必要があると考えます。

地方分権、地方創生にふさわしい議会とすべく、今後も全力で改革を進めます!



効果

- 補助金の全廃止で年間 約1,700万円の削減
- 定数削減で年間約8,000万円の削減
- 費用弁償廃止で年間約3,000万円の削減
- 議員提案条例の制定活発化…etc.



■新たな約束(平成27年4月~平成31年3月)はHPに掲載!

名前 あさのふみなお 君 学年 4 期生 年齢 4 4 才

評価	科目
あと 一歩	■小児救急医療ストップゼロ ・平成26年3月に中部小児急病センターを開設。 しかし、南部小児急病センターの救急ストップが1日平均40分発生中。
あと 一歩	■子育て支援 ・幼稚園就園奨励費補助金を平成24年から平成27年にかけて、最大21万1千円増額。 幼児教育無償化の実現に全力。 ・保育園を平成23年から平成27年にかけて、保育所数で91箇所、定員数で6,435人増やして、 待機児童数は平成26年度で62人まで減少しました。
もっと 努力 しましょう	■行財政改革・川崎版事業仕分けの実行 ・出資比率25%以上の出資法人を35から23まで統廃合しました。 また、役員給与等を年間500万以下、退職金0を全ての団体で実現しました。 ・5つの出資法人を事業仕分け対象として無駄撲滅プロジェクトを実行。 ・職員削減は平成14年以降、3,045人となりました。 ＊しかしながら、超高齢化社会など社会構造の変化に向け、ドラスティックな改革が必要!
もう ひとき	■児童擁護の拡充 ・里親制度は研修等を充実させ、2割ほどアップ。 ・児童相談所、乳児院は計画通り整備出来たが、小規模養護施設は平成27年以降に整備。
もっと 努力 しましょう	■有馬・東有馬コミュニティバスの実現 ・運行実験、試験運行以降進展せず。現在、民間運送会社、地元JVの方とも協議中。
もう ひとき	■介護施設と障害者入所施設の増設 ・平成23年から平成26年度で特別養護老人ホーム17箇所の増設をはじめ各種施設整備 により、3,594増床。 ・県に意見書をあげるなどして、南部障害者入所施設を事業化。 ＊今後、一刻も早い包括ケアシステムの構築が必要!
もう ひとき	■官製談合の撲滅 ・数多くの案件を追求。電子くじの談合抽選を防止する為、ハッシュ値に乱数を掛け合わせた。
もっと 努力 しましょう	■ドッグラン ・東扇島緑地のワークショップ提案設置以降設置なし。

あさの君の政治資金

収支報告や給与明細は <http://2370.net>

浅野文直 「あなたの視点」川崎市議会報告 討議資料

拉致をあきらめない

横田めぐみさんが、1977年に北朝鮮に拉致されてから、37年が経過しました。川崎市には横田めぐみさんの御両親が在住されており、行政も議会も一日も早い解決に向けて取組を進めています。これまでも、川崎市議会では4回に渡り「早期解決に関する決議」を行い、市民の皆様にも拉致問題解決への深い関心を持っていただくため、議会庁舎で写真展を開催致しました。

また、昨年7月には、ジュネーブの国連人権高等弁務官事務所を訪れ、議会決議文を手渡し、あらゆる形での協力を要請致しました。国連への働きかけは、他国の自治体や議会では積極的に行われており、その点では我が国は改善が必要と考え、要請活動を行いました。

今後ともあらゆるパイプを活用し、拉致問題の解決に取り組んでまいります。



■平成25年6月 神奈川新聞

■平成26年5月 神奈川新聞

川崎市議会は27日、議員提案の政策条例の策定に当たっては、原則としてパブリックコメント（市民意見募集）を行う方針を決めた。

同市議会では近年、議員提案条例が相次いで制定されているが、パブリックコメントの実施の有無は条例ごとに異なっていた。しかし、市民の多様な意見を把握して、開かれた議会を実現するには、パブリックコメントの手続きを導入するべきと判断した。

条例策定に市民意見

断。同日の各会派団長会議で申し合わせた。

対象は委員会で協議される政策条例案か、定数の12分の1以上の賛成がある政策条例案をパブリックコメントの対象とするのは「提出された意見を考慮して、結果を公表するとしている。」

市議会、原則募集へ

市議会局政策調査課によります。実施手法として、政策条例案、賛成がある政策条例案をパブリックコメントの対象とするのは「提出された意見を考慮して、結果を公表するとしている。」

（鈴木 昌昭）

浅野市議会議長の横顔

川崎市議会の第39代議長 井筒部でならした。川崎市に浅野文直氏(42)が就任した。職後では最年少の市議会議長となった。

「改革進めたい」

「議員になる以上、即戦力として仕事するべきと助んで来た。だから年齢にとらわれず職責を全うする。ただ、最年少というところは市議会が若返った象徴。周囲の期待もあると思う。ドラスチックに改革が進められることがあれば進めたい」と意気込みを込めた。

群馬県出身。大学時代は



「娘が大きくなると、相手してくれぬのは大分だけ。唯一の娘やしますよ」と、よく娘が嫁んだ。（鈴木 昌昭）

守るべき人がいる
守るべき町がある

「あなたの視点」川崎市議会報告
討議資料

活動フォトギャラリー

解決



●西長沢公園駐車場整備

公園の利用にあたっては、駐車場が課題でした。県水道企業団と協議を行い、平成27年4月より無料駐車場を整備しました。

2015/04/30 (日)

解決



●公園の設置

公園の無い地域の声にごたえて、地権者に相談して、市に20年間の無償貸与を頂き整備。

解決



●カーブミラーの設置

多く頂く陳情の一つ。見通しの悪い交差点にカーブミラーを設置。

解決



●保育園の設置

不足地域の声に応えるため、地権者、社会福祉法人とかけあい設置



平成27年2月
川崎市スポーツ特別賞
贈呈式



平成26年4月
防犯対策に浅野がベンダー企業
と開発したシステム第一号
早くも犯人検挙!



平成26年12月
川崎市児童家庭支援・
児童虐待防止フォーラム



平成27年1月
楠樹官衙遺跡群
国史跡指定イベント

「あなたの視点」を教えてください。

川崎市や宮前区における
地域の問題や課題をお聞かせください。

子育て支援への要望をお聞かせください。

浅野文直



は、様々な手段で、皆様と対話します。

朝の駅頭演説や、インターネット、そして、節目節目に皆様にお届けする川崎市議会報告も今回第35号を数えるまでになりました。

そして現在、戦後最年少議長として皆様の声を政策に反映出来る立場をいただきました。

だからこそ、今よりももっと、宮前の街に住む皆さんの声が聞きたいと思っています。市政、市議会というと遠い世界のようなのですが、街の困りごとやもっとこうしたらいいのという思いを、たとえばこのアンケートはがきを使って、ぜひお伝えください。

あなたの声を聞かせて!

<http://2370.net>

POST CARD

おそれいりま
すが50円切
手を持って回
信ください

216-0003

川崎市宮前区有馬6-6-7

川崎市議会議員

浅野文直 事務所行

あさのふみなお

川崎市政アンケート

お名前	男・女 (年齢 歳)
ご住所	(〒 -)
お電話	FAX
メール	

川崎市議会議員

浅野文直

プロフィール

昭和46年2月21日生まれ。現在44才

- 群馬県立渋川高校卒業
国学院大学法学部法律学科卒業。
- 平成11年4月川崎市議会議員に初当選。
現在四期目。健康福祉委員会委員。
元・川崎市幼稚園父母の会会長
第39代川崎市議会議員【戦後最年少】
- 趣味はトランペット、将棋。
- 高校時代はボクシング部。大学時代は弁論部
幹事長として、ディベート・弁論大会、全国
遊説を敢行。

切り取り線

発行:川崎市議会議員浅野文直事務所
〒216-0003川崎市宮前区有馬6-6-7
TEL:044-860-2370
FAX:044-860-2371
E-mail:asano@2370.net